

「トレンドカラー」

昨年までの振り返りと2024年の最新情報

2024/03/04

株式会社クロスデバイス

【1】トレンドカラーとは？

トレンドカラーの基礎知識の復習

トレンドカラーとは

トレンドカラーとはその年に流行する色のことです。

インターカラー(国際流行色委員会)という機関の話し合いによって、トレンドカラーの方向性が決められます。インターカラーで提案された内容や市場の動向を見据えながら、トレンドカラーを選定する各国の組織によって正式に決定します。

そして、そのトレンドカラーを元にアパレルメーカーが商品企画を行い、実シーズンにはそのカラーを反映させたデザインの製品が発表され、流行に繋がるという仕組みになっています。

「流行色というだけでなく、
その年や時代のムードを表し
たテーマカラーである」

トレンドカラーは、どのように決まる？

解説

「JAFCA」とは？

「一般社団法人 日本流行色協会」の略称。

カラートレンドの研究や発信、色に携わるコンサルティングなど、「色」にまつわる事業を行っている協会です。

「色で新しい価値を創造する（COLOR Makes Value）」というビジョンを掲げ、1953年の創立以来、産業界の「色」をリードしてきました。

翌年の流行色だけでなく、レディースウェアやメンズウェアの「カラートレンド」も発信。

季節ごとにトレンドカラーを出しています。JAFCAが実施するマーケット調査とインターカラー（国際流行色委員会）の情報をもとにカラーを選出しているため、信頼性が高いのもポイントです。

トレンドカラーは、どのように決まる？

解説

「PANTONE」とは？

アメリカに本社を持つグラフィック関連事業を業務とする企業。

世界的に有名な「色見本帳」を制作しています。

PANTONEの色見本帳は、アパレルをはじめ、美容、インテリア、工業デザイン等、あらゆる業界で使われています。

また、ペーパーやコットン、ナイロンなど素材に応じて色の質感が異なることから、素材ごとに色見本帳を提供するなど、色に対する真摯な姿勢を感じる企業です。

【2】 2022年のトレンドカラーについて

2022年のトレンドカラーの概要と
実際にどう流行したのかを振り返る

【2】2022年のトレンドカラーについて

解説

[JAFCA] ジョリーコーラル

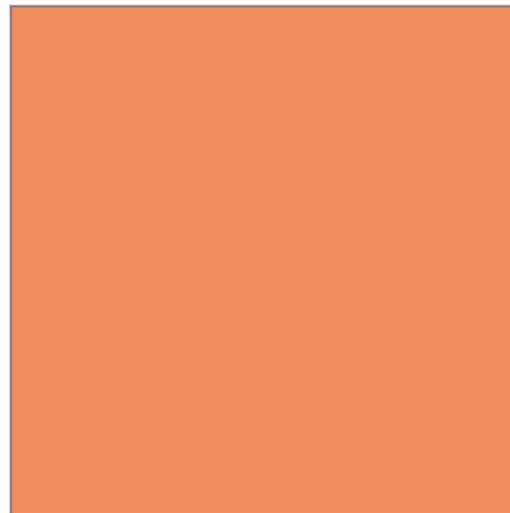
カラーコード：#F18D5F RGB値：241,141,95 CMYK：0,41,60,5

「明るい希望を描く、光満ちるコーラル」

オレンジをベースとした、優しい蛍光色カラー

[キーワード]

前に進む力 / 鮮やかな世界 / 楽しみの再確認 / 瞬発力



【2】2022年のトレンドカラーについて

解説

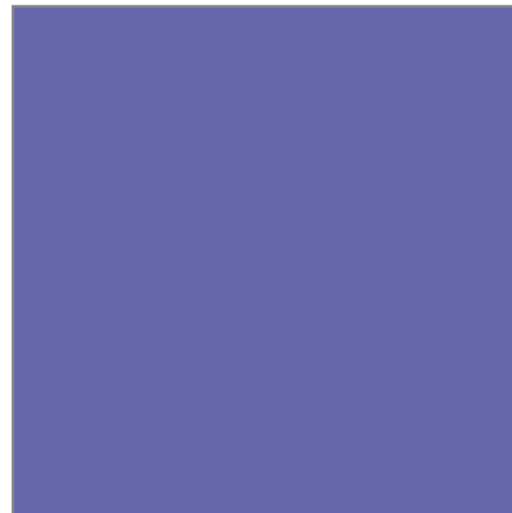
[PANTONE] ベリー・ペリ

カラーコード：#6667AB RGB値：102,103,171 CMYK：40,39,0,32

「最も幸せで暖かいブルー」

活気のある赤紫の色味を帯びたダイナミックで紫がかった淡いブルーの新色

”ブルーの持つ誠実さと不変性”と
”レッドの持つエネルギーと興奮”の融合



PANTONEの「カラー・オブ・ザ・イヤー」のために新色が作られたのは、実は初めてのことでした。

【2】2022年のトレンドカラーを振り返って

振り返り

- ・ファストファッション・ハイブランド共によく見かけた
- ・トレンドカラー2色組み合わせたアイテムやコーディネートも見かけた。
- ・小さめバッグの流行と合わせて、差し色に使われていた
- ・ベリーペリは、全身紫系で綺麗めにまとめるワントーンコーデも見かけた
- ・ジョリーコーラルは、デニムやカーキなどカジュアルコーデとの相性が良かった
- ・ヘアカラー・ネイルで取り入れている人が目立った

(ハイトーンヘアの流行、手軽に取り入れられるネイルポリッシュ)

【3】 2023年のトレンドカラーについて

2023年のトレンドカラーの概要と
実際にどう流行したのかを振り返る

【3】2023年のトレンドカラーについて

解説

[JAFCA] ルミナスイエロー

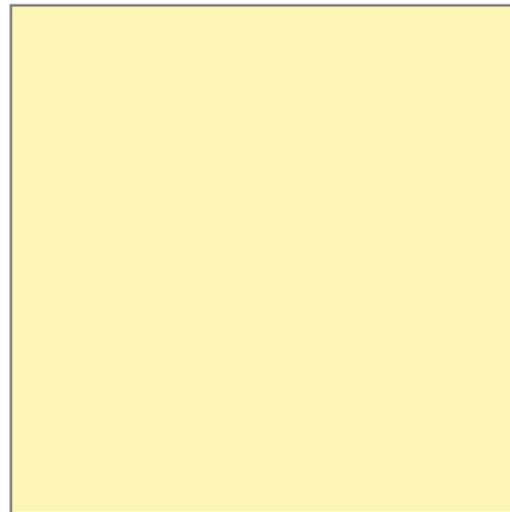
カラーコード：#FEF6B7 RGB：254,246,183 CMYK：0,3,28,0

「やさしさに包まれるイエロー」

〈キーワード〉

多様性・つながる・広がる・共生・癒される・光る・
immaterial（非物質）・適温・グラデーション・
浸る・境界があいまいになる

- ・心がほっと落ち着くような淡い優しさを感じる色合い
- ・優しく穏やかで、希望を感じさせてくれる色
- ・不安な気持ちをそっと癒し、明るい気持ちにしてくれるようなく柔らかい色
- ・どんな色にも合わせやすく、世界観を邪魔しない色合い



【3】2023年のトレンドカラーについて

解説

[PANTONE]ビバマゼンタ

カラーコード：#CE3256 RGB：206,50,86 CMYK：0,76,58,19

「私たちの精神に活力を与え、内なる強さを構築する手助けする色」

「天然染料が由来であり、もっとも強く明るい赤系統」

- ・動的で強さを感じる色
- ・すこし濃いめの赤に黒が混ざったような色で、堂々とした印象。
- ・はっきりした明るい色で、一つ加えるだけでも新鮮で力強い躍動感が味わえる
- ・着物、和紙、漆など、日本的素材と組み合わせても映える



【3】2023年のトレンドカラーを振り返って

振り返り

- ファストファッション・ハイブランド問わず、街中でトレンドカラーを取り入れたコーディネートを見かけることが多かった。（カラーバス効果？）
- ルミナスイエローの方がカジュアルな装い（私服）に多い印象だった
- ビバマゼンタの方がフォーマルな装い（仕事服）に多い印象だった
- トレンドカラー2色組み合わせたコーディネートは見かけなかった（派手すぎる？）
- ビジネス街で、黒や紺など濃い色のベーシックなスーツに、差し色でビバマゼンタを取り入れている方を複数名見かけた（ストール・ネクタイ・パンプスなど）
- ルミナスイエローは、淡い色（白・ベージュ・ライトグレー）の柔らかい素材と合わせて、かわいらしい印象で全身ワントーンコーデをしている方を複数名見かけた

【4】2024年のトレンドカラーについて

2024年のトレンドカラーの概要と
おすすめの取り入れ方の提案

【4】2024年のトレンドカラーについて

解説

[JAFCA] ハロー！ブルー

カラーコード：#4f8bc2 RGB：R:79 G:139 B:194 CMYK：C:71% M:41% Y:12% K:0%

「世界にハロー！世の中を明るく照らすブルー」

〈キーワード〉 冷静、沈着、平静、知性、平和、共生、うららかなさ、のどかさ、安らぎ、晴澄、コミュニケーション、俯瞰、調和、前向きに進む、シームレス、移り変わる色etc

「ハロー！」と新しい時代を笑顔で歓迎するような、未来を明るく照らし前向きにしてくれる明るく優しいブルー。

時代の混沌や世の中の不平不満を浄化し、すっきりとした空気を運んできてくれるようなクリーンでさわやかな色。



【4】2024年のトレンドカラーについて

解説

[PANTONE]ピーチ・ファズ

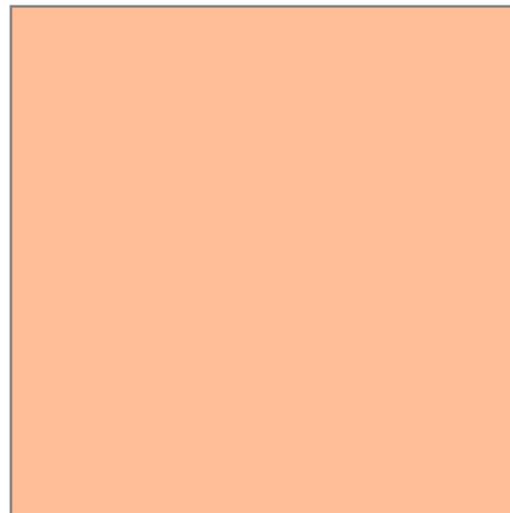
カラーコード：#FFBE98 RGB：R:255 G:190 B:152 CMYK：C:0% M:36% Y:39% K:0%

**「ベルベットのような優しいピーチトーンで、
すべてを包み込み、心・体・魂を豊かにする」**

ピーチ＝桃、ファズ＝毛羽立った・ぼやかす・綿毛。

ベルベットのように柔らかい桃のような、優しさと思いやりを表現する淡いオレンジ系のピンクベージュ。

内側からの安らぎを提供し、現代的な美しさをもたらす。
暖かみがありつつ、モダンでエレガントな輝きを放つ色。



【4】2024年のトレンドカラーについて

取り入れ方の提案

- ・ ハロー！ブルーとピーチ・ファズの2色の組み合わせ（パステルカラー同士で合わせやすい）
- ・ ヴィンテージ、レトロな雰囲気デザインと合わせて取り入れる
- ・ 色落ちしたような、薄色デニム素材で明るいブルーを取り入れる（Gパン・Gジャン）
- ・ ピーチ（桃）のモチーフで遊び心のあるコーディネート（アクセサリ・Tシャツの柄・香水）
- ・ ピーチファズと暖色（オレンジ・ピンク）、ハローブルーと寒色（青・紫）など、色の温度で合わせる
→ ピーチファズ+ジョリーコーラル（2022）、ハローブルーとベリーペリ（2023）など
近年のトレンドカラーとの組み合わせで手持ちのワードローブの有効活用
- ・ ストールで差し色として取り入れる（柔らかい素材なので今年のトレンドカラーの印象にも合う）
- ・ メイクにトレンドカラーを取り入れるのも◎ 単色アイシャドウやネイルなら簡単&リーズナブル

まとめ

2024年は、柔らかさと穏やかさを感じさせる明るい二色が選出されました。

昨年の二色が対象的な雰囲気だったのに対し、今年の二色は似た雰囲気のトーンでありつつも、寒色と暖色で色の温度が異なるのが印象的でした。

毎年発表されるトレンドカラーは、単にその年に流行する色という意味ではなく、また特定の商品分野に向けたものでもなく、その年の人々の心や考えを表す色であり、世の中にむけた「メッセージカラー」として選定されています。

トレンドカラーの選定理由を知り、色が持つ意味を考えることで、世界の見え方が少し変わるのではないのでしょうか。

今回の発表が、皆さんの制作物や普段のコーディネートにトレンドカラーを取り入れるきっかけになれば嬉しいです。

※商用・営利目的の資料ではなく、社内発表用の資料です。

※個人的な見解や解釈を含んでいる場合もございますがご容赦ください。